

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日
東

上場会社名 平安レイサービス株式会社 上場取引所
 コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 秀行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平井 良也 (TEL) 0463-34-2771
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,392	△0.7	587	△8.4	642	△8.6	390	△5.0
26年3月期第2四半期	4,423	△3.9	640	△21.0	702	△17.9	410	△18.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 404百万円 (1.0%) 26年3月期第2四半期 400百万円 (△19.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	29.71	—
26年3月期第2四半期	31.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	29,607	13,993	47.3
26年3月期	29,740	13,721	46.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 13,993百万円 26年3月期 13,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,799	2.5	1,836	6.0	1,946	4.9	1,192	10.7	90.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	14,667,000株	26年3月期	14,667,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,532,967株	26年3月期	1,532,967株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	13,134,033株	26年3月期2Q	13,134,033株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済の概況は、雇用・所得環境の改善や企業収益の持ち直しがみられる一方で、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動に加えて、円安による原材料等の価格上昇による影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスの商品化による収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率の維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

① 冠婚事業

当事業では、一般婚礼の集客増を図るために、チャペル内を光とスモークでドラマティックな空間に演出する「天空への誓い」を新商品として、各媒体のビジュアル面の充実を図り、商品力の向上に努めてまいりました。

さらに、ロイヤルマナーフォートベルジュールにおいて大規模婚礼対応のバンケットホールを残したまま、中小規模婚礼にも対応可能なフロアリニューアルを実施するとともに、中小規模婚礼専用の新プランを作成いたしました。

その結果、前年同期に比べ、婚礼一組単価は小規模婚礼の取込みにより減少いたしました。婚礼施行組数は増加となり、売上高は201百万円（前年同期比6.5%増加）、営業利益は10百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

② 葬祭事業

当事業では、平成26年7月に貸切型の家族葬専用式場として新葬祭施設「湘和会館赤松」（茅ヶ崎市赤松町）をオープンいたしました。

また、既存葬祭施設では中小規模の葬儀にも対応可能なように「湘和会堂六会」（藤沢市亀井野）の全館改装を実施し、ご家族が故人にゆったりと寄り添える専用安置室「貴殯室」も新設いたしました。さらに、より魅力ある施設とするため、「湘和会館辻堂元町」「湘和会館愛甲石田」の外観リニューアルを行いました。

営業面では、施設見学会などのイベントを実施するとともに、エリア毎に変化を持たせた案内紙を配布するなど、広告活動の強化に努めて参りました。

当第2四半期連結会計期間における当社主要エリアのシェア率は前年同期と比べ上昇しましたが、死亡人口増加率は大きく下降したため、葬儀施行件数は減少となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における死亡人口増加率も前年同期と比べ下降となったものの、当社シェア率は上昇したため葬儀施行件数は増加、葬儀一件単価は会葬者数減少等の影響により減少し、売上高は3,666百万円（前年同期比1.5%減少）、経費については、「湘和会館赤松」の開業費用及び「湘和会堂六会」の改装費用が発生したこともあり、営業利益は895百万円（前年同期比11.8%減少）となりました。

③ 互助会事業

当事業では、売上高は117百万円（前年同期比1.1%減少）、広告宣伝費の増加により営業利益は55百万円（前年同期比10.7%減少）となりました。

④ 介護事業

当事業では、訪問看護・介護サービスの利用者数増と、高齢者向け賃貸住宅の広告強化により入居者数が順調に推移したことで、売上高は522百万円（前年同期比3.2%増加）、営業利益は34百万円（前年同期比35.3%増加）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,392百万円（前年同期比0.7%減少）、経費面では、子会社調理部門において前期に実施された厨房の一元化を労務効率の面でさらに向上させるため、葬祭部門の調理スペースの拡張工事を行い、冠婚・葬祭の調理部門を1フロアに統合した費用等が発生した事により、営業利益は587百万円（前年同期比8.4%減少）、経常利益は642百万円（前年同期比8.6%減少）、四半期純利益は390百万円（前年同期比5.0%減少）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して133百万円の減少となりました。流動資産では、法人税等の支払及び有形固定資産の取得により現金及び預金が211百万円減少、有価証券が償還、振替等により301百万円の増加となりました。また、投資その他の資産では、投資有価証券が取得、振替等により278百万円減少しております。

負債合計では、前連結会計年度末に比較して406百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が318百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が93百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して272百万円の増加となりました。

キャッシュ・フローの状況は、営業活動の結果、獲得した資金は214百万円（前年同期比209.3%増加）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益642百万円、減価償却費238百万円が計上された一方で、前払式特定取引前受金の減少93百万円、仕入債務の減少40百万円、法人税等の支払548百万円が生じたことによるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は290百万円（前年同期比193.2%増加）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出272百万円によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は132百万円（前年同期比0.2%増加）となりました。これは、配当金の支払132百万円によるものであります。

これにより、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ208百万円減少し、6,280百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月7日に公表いたしました通期の業績予想から修正は行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,612,354	6,401,245
売掛金	232,268	197,725
有価証券	6,501,165	6,802,430
商品及び製品	43,328	40,869
原材料及び貯蔵品	107,822	103,700
繰延税金資産	95,020	78,818
その他	103,707	161,959
貸倒引当金	△1,635	△1,786
流動資産合計	13,694,031	13,784,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,125,713	4,185,291
機械装置及び運搬具(純額)	105,242	102,357
工具、器具及び備品(純額)	143,266	148,311
土地	6,922,526	6,922,526
その他	78,090	68,397
有形固定資産合計	11,374,839	11,426,884
無形固定資産	35,603	30,264
投資その他の資産		
投資有価証券	1,822,103	1,543,110
長期貸付金	30,000	30,000
長期預金	600,000	600,000
繰延税金資産	295,211	284,919
その他	1,889,011	1,907,146
投資その他の資産合計	4,636,326	4,365,177
固定資産合計	16,046,769	15,822,325
資産合計	29,740,800	29,607,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	210,063	169,104
未払法人税等	527,531	209,520
掛金解約手数料戻し損失引当金	7,041	7,240
その他	610,050	645,835
流動負債合計	1,354,687	1,031,700
固定負債		
繰延税金負債	38,465	38,710
役員退職慰労引当金	85,764	85,764
退職給付に係る負債	77,025	83,032
資産除去債務	107,599	112,684
前払式特定取引前受金	14,332,268	14,238,343
その他	23,917	23,104
固定負債合計	14,665,041	14,581,641
負債合計	16,019,728	15,613,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	10,749,157	11,008,045
自己株式	△670,468	△670,468
株主資本合計	13,702,599	13,961,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,472	32,460
その他の包括利益累計額合計	18,472	32,460
純資産合計	13,721,072	13,993,948
負債純資産合計	29,740,800	29,607,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,423,392	4,392,736
売上原価	3,133,345	3,181,339
売上総利益	1,290,046	1,211,397
販売費及び一般管理費	649,372	624,367
営業利益	640,674	587,030
営業外収益		
受取利息	14,958	12,360
受取配当金	1,748	1,975
掛金解約手数料	20,415	13,534
その他	31,368	33,856
営業外収益合計	68,490	61,727
営業外費用		
供託委託手数料	2,834	2,636
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	714	2,267
保険解約損	1,145	337
その他	1,566	1,088
営業外費用合計	6,262	6,330
経常利益	702,903	642,427
税金等調整前四半期純利益	702,903	642,427
法人税、住民税及び事業税	294,700	233,374
法人税等調整額	△2,616	18,824
法人税等合計	292,084	252,198
少数株主損益調整前四半期純利益	410,818	390,228
四半期純利益	410,818	390,228

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	410,818	390,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,580	13,987
その他の包括利益合計	△10,580	13,987
四半期包括利益	400,237	404,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	400,237	404,216
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	702,903	642,427
減価償却費	228,592	238,953
掛金解約手数料戻し損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,030	199
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	150
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,034	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	6,007
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△337	-
受取利息及び受取配当金	△16,706	△14,336
売上債権の増減額 (△は増加)	14,355	34,543
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,499	6,581
仕入債務の増減額 (△は減少)	△42,643	△40,959
前払式特定取引前受金の増減額 (△は減少)	△108,649	△93,924
その他	△183,609	△30,894
小計	586,392	748,747
利息及び配当金の受取額	21,751	14,227
法人税等の支払額	△538,948	△548,942
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,194	214,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△35,075	△25,490
定期預金の払戻による収入	27,980	27,980
有形固定資産の取得による支出	△359,611	△272,090
有形固定資産の売却による収入	491	28
無形固定資産の取得による支出	-	△1,354
投資有価証券の取得による支出	△3,300,408	△2,701,885
投資有価証券の償還による収入	3,605,000	2,700,000
その他の支出	△55,218	△35,055
その他の収入	17,765	17,378
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,075	△290,488
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△131,879	△132,162
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131,879	△132,162
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△161,759	△208,618
現金及び現金同等物の期首残高	6,493,289	6,488,619
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,331,529	6,280,000

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	189,215	3,723,077	2,682	506,270	4,421,245	2,146	4,423,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	116,418	—	116,418	—	116,418
計	189,215	3,723,077	119,100	506,270	4,537,664	2,146	4,539,810
セグメント利益又は損失(△)	△3,521	1,015,812	62,209	25,807	1,100,308	333	1,100,641

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,100,308
「その他」の区分の利益	333
全社費用(注)	△459,967
四半期連結損益計算書の営業利益	640,674

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	201,597	3,666,618	744	522,662	4,391,621	1,115	4,392,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	117,048	—	117,048	—	117,048
計	201,597	3,666,618	117,792	522,662	4,508,669	1,115	4,509,785
セグメント利益	10,144	895,755	55,555	34,918	996,373	210	996,584

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	996,373
「その他」の区分の利益	210
全社費用(注)	△409,553
四半期連結損益計算書の営業利益	587,030

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。